

くらし応援 コジマ

第62期 定時株主総会 招集ご通知

開日 催時 2024年11月20日（水曜日）
午前10時

開場 催所 栃木県宇都宮市駒生一丁目
1番6号
コンセーレ（栃木県青年会館）
1階 「大ホール」

議案

第1号議案 剰余金の処分の件
第2号議案 定款一部変更の件
第3号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）
5名選任の件
第4号議案 監査等委員である取締役
1名選任の件
第5号議案 補欠の監査等委員である
取締役1名選任の件
第6号議案 取締役（監査等委員である
取締役及び社外取締役を除く。）に対する
譲渡制限付株式の付与に関する報酬額等及
び内容の決定の件

目次

招集ご通知	1頁
株主総会参考書類	6頁
事業報告	21頁
計算書類	36頁
監査報告書	38頁

・ おみやげ（クーポン券等を含む）の配布は一切ございません。

招集通知 閲覧も議決権行使もスマホで簡単

スマート招集



議決権行使書用紙をご用意ください

「スマート行使」で簡単議決権行使
議決権行使書用紙に記載されたQRコードを
スマートフォンで読み取ることで、
議決権行使コード等を入力する
ことなく専用サイトにログインし、
議決権を行使することができます。



株式会社 **コジマ**

証券コード 7513

証券コード 7513
2024年11月1日

株 主 各 位

栃木県宇都宮市星が丘二丁目1番8号

株式会社 コジマ

代表取締役社長 中 澤 裕 二

第62期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第62期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下のウェブサイトに掲載しておりますので、当該ウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト <https://www.kojima.net/corporation/ir/call.html>



東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



（上記の東証ウェブサイトアクセスいただき、「銘柄名（会社名）」に「コジマ」又は「コード」に当社証券コード「7513」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。）

株主総会資料 掲載ウェブサイト <https://d.sokai.jp/7513/teiji/>



なお、当日ご出席されない場合は、インターネット等又は書面（郵送）によって議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討のうえ、2024年11月19日（火曜日）午後6時までに議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2024年11月20日（水曜日）午前10時
2. 場 所 栃木県宇都宮市駒生一丁目1番6号
コンセーレ（栃木県青年会館） 1階 「大ホール」
（末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。）
3. 会議の目的事項
(報告事項) 第62期（自2023年9月1日 至2024年8月31日）事業報告及び計算書類の内容報告の件
(決議事項)
 - 第1号議案 剰余金の処分の件
 - 第2号議案 定款一部変更の件
 - 第3号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件
 - 第4号議案 監査等委員である取締役1名選任の件
 - 第5号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件
 - 第6号議案 取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）に對する譲渡制限付株式の付与に関する報酬額等及び内容の決定の件

4. 議決権行使についてのご案内

3～5頁に記載の【議決権行使についてのご案内】をご参照ください。

5. その他本招集ご通知に関する事項

書面交付請求をいただいた株様には、電子提供措置事項を記載した書面をあわせてお送りいたしますが、当該書面は、法令及び当社定款第15条第2項の規定に基づき、事業報告の「主要な営業所」、「会社の新株予約権等に関する事項」、「会計監査人に関する事項」、「業務の適正を確保するための体制及びその運用状況の概要」、計算書類の「株主資本等変動計算書」及び「個別注記表」を除いております。したがって、当該書類は、監査報告を作成するに際し、監査等委員会及び会計監査人が監査をした対象の一部であります。

以 上

~~~~~  
◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記インターネット上の各ウェブサイトにおいて、その旨、修正前及び修正後の事項を掲載いたします。

◎当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。

# 議決権行使についてのご案内

議決権は、以下の3つの方法により行使いただくことができます。

## インターネットにより議決権を行使される場合

---



4～5頁の案内に従ってスマートフォン又はパソコンから議決権行使ウェブサイトログインしていただき、議案に対する賛否をご入力ください。

**2024年11月19日（火曜日）**  
**午後6時 入力完了分まで**

## 書面（郵送）により議決権を行使される場合

---



議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、切手を貼らずにご投函ください。

**2024年11月19日（火曜日）**  
**午後6時 到着分まで**

## 株主総会にご出席される場合

---



議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

**2024年11月20日（水曜日）**  
**午前10時（受付開始：午前9時）**

- ※ インターネット及び書面（郵送）により重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取扱わせていただきます。
- ※ インターネット等により複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。



## インターネットにより議決権を行使される場合

2024年11月19日（火曜日）

午後6時 入力完了分まで

### 「スマート行使」 ログインQRコードを読み取る方法

議決権行使コード及びパスワードを入力することなく  
議決権行使ウェブサイトログインすることができます。

#### 1 議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取ってください。

議決権行使書 株主番号 ○○○○○○○○ 議決権の数 XX 股

○○○○ 御中

××××年 ×月××日

○○○○○○○

1. \_\_\_\_\_  
2. \_\_\_\_\_  
3. \_\_\_\_\_  
4. \_\_\_\_\_

スマートフォン用  
議決権行使  
ウェブサイト  
ログインQRコード

見本

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。  
※議決権行使書用紙はイメージです。

#### 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

「スマート行使」での議決権行使は**1回のみ**。

議決権行使後に行使内容を変更する場合は、お手数ですがPC向けサイトへアクセスし、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」・「パスワード」を入力してログイン、再度議決権行使をお願いいたします。

※QRコードを再度読み取っていただくと、PC向けサイトへ遷移できません。

スタート行先

すべての会社提案議案について「賛成」する

各議案について個別に指示する

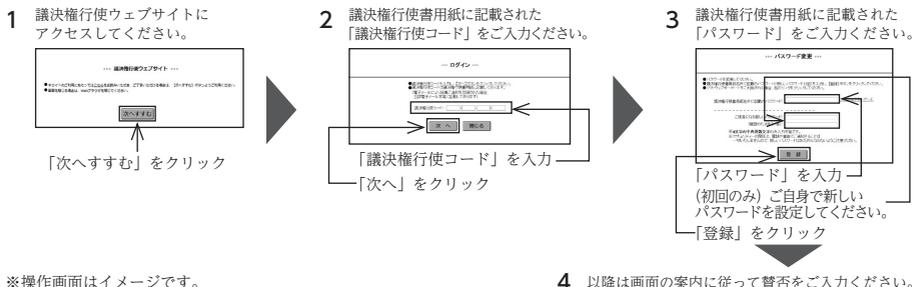
議決権行使書用紙の印刷・ダウンロード

議決権行使書用紙の印刷・ダウンロード

議決権行使書用紙の印刷・ダウンロード

# 議決権行使コード・パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://soukai.mizuho-tb.co.jp/>



※操作画面はイメージです。

（ご注意）

- ・パスワード（株主様に変更されたものを含みます。）は今回の株主総会のみ有効です。次回の株主総会時は新たに発行いたします。
- ・パスワードは、ご投票される方がご本人であることを確認する手段です。なお、パスワードを当社よりお尋ねすることはございません。
- ・パスワードは一定回数以上間違えるとロックされ使用できなくなります。ロックされた場合、画面の案内に従ってお手続ください。
- ・インターネット接続に係る費用は株主様のご負担になります。
- ・パソコンやスマートフォン等のインターネットのご利用環境等によっては、議決権行使ウェブサイトがご利用できない場合があります。

インターネットによる議決権行使でパソコンやスマートフォン等の操作方法などがご不明な場合は、右記にお問い合わせください。

みずほ信託銀行 証券代行部 インターネットヘルプダイヤル  
☎ 0120-768-524  
(受付時間 年末年始を除く9:00～21:00)

機関投資家の皆様は、株式会社ICJの運営する機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことが可能です。



## 書面（郵送）により議決権を行使される場合

議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、切手を貼らずにご投函ください。

2024年11月19日（火曜日）午後6時 到着分まで

### 議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

議決権行使書 株主番号 ○○○○○○○○ 議決権の数 XX 個  
御中  
××××年 ×月××日

1. \_\_\_\_\_  
2. \_\_\_\_\_  
3. \_\_\_\_\_  
4. \_\_\_\_\_

こちらに議案の賛否をご記入ください。

第1・2・4・5・6号議案

- 賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 否認する場合 >> 「否」の欄に○印

第3号議案

- 全員賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 全員否認する場合 >> 「否」の欄に○印
- 一部の候補者を否認する場合 >> 「賛」の欄に○印をし、否認する候補者の番号をご記入ください。

※議決権行使書において、各議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取扱わせていただきます。

# 株主総会参考書類

## 議案及び参考事項

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、株主の皆様に対する収益性、会社の今後の収益予想、企業基盤の強化等を十分考慮し、業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、当事業年度の期末配当につきましては、業績等を勘案し、期初配当予想から2円増配し、当社普通株式1株当たり16円といたしたいと存じます。

- (1) 配当財産の種類  
金銭といたします。
- (2) 株主に対する配当財産の割当に関する事項及びその総額  
当社普通株式1株につき16円といたしたいと存じます。  
なお、この場合の配当総額は1,231,929,488円となります。
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日  
2024年11月21日といたしたいと存じます。

## 第2号議案 定款一部変更の件

### 1. 提案の理由

事業内容の今後の多様化及び事業目的の明確化を図るため、現行定款第2条（目的）について事業目的の追加、削除及び記載内容の一部変更を行うものであります。

### 2. 変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります。

（下線部分は変更箇所を示しております。）

| 現行定款                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 変更案                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【目的】</b><br/>第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。</p> <p>1. ～7. (条文省略)</p> <p>8. <u>家庭電化製品の安値日本一への挑戦販売</u></p> <p>9. ～<u>21.</u> (条文省略)</p> <p><u>22.</u> <u>結婚式場の経営</u></p> <p><u>23.</u>～<u>28.</u> (条文省略)</p> <p><u>29.</u> <u>バイオテクノロジーによる種、苗の生産及び販売</u></p> <p><u>30.</u>～<u>41.</u> (条文省略)</p> <p>(新設)</p> | <p><b>【目的】</b><br/>第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。</p> <p>1. ～7. (現行どおり)</p> <p>(削除)</p> <p>8. ～<u>20.</u> (現行どおり)</p> <p>(削除)</p> <p><u>21.</u>～<u>26.</u> (現行どおり)</p> <p>(削除)</p> <p><u>27.</u>～<u>38.</u> (現行どおり)</p> <p><u>39.</u> <u>農産物、畜産物、水産物の生産・加工及び販売</u></p> |

| 現行定款       | 変更案                                                  |
|------------|------------------------------------------------------|
| (新設)       | 40. <u>自動車・自転車の販売並びにそれらのタイヤ・チューブ・ホイール・付属品の修理及び販売</u> |
| (新設)       | 41. <u>自動車リース業及び自動車レンタル業</u>                         |
| (新設)       | 42. <u>自動車整備業及び車検に関する指導・相談・斡旋</u>                    |
| (新設)       | 43. <u>自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業</u>                       |
| (新設)       | 44. <u>使用済家庭用電気製品の再生処理及び再生製品の販売</u>                  |
| (新設)       | 45. <u>廃棄物の収集、運搬及び再生処理事業</u>                         |
| 42. (条文省略) | 46. (現行どおり)                                          |

### 第3号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。）全員（5名）は、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役5名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案について、監査等委員会から意見はございませんでした。

取締役（監査等委員である取締役を除く。）の候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番号 | 氏名                     | 当社における地位及び担当                             |    |
|-----------|------------------------|------------------------------------------|----|
| 1         | なか ぎわ ゆう じ<br>中 澤 裕 二  | 代表取締役社長<br>社長執行役員                        | 再任 |
| 2         | あら かわ ただ し<br>荒 川 忠 士  | 代表取締役専務<br>専務執行役員 経営企画本部長                | 再任 |
| 3         | し とう りゅう じ<br>紫 藤 竜 二  | 取締役<br>常務執行役員 総務人事本部長<br>兼 人事部長 兼 内部統制担当 | 再任 |
| 4         | く ぼ た かず ふみ<br>久保田 一 史 | 取締役<br>執行役員 営業本部長 兼 開発部長                 | 再任 |
| 5         | あき ほ とおる<br>秋 保 徹      | 取締役                                      | 再任 |

**再任** 再任取締役候補者 **社外** 社外取締役候補者 **独立** 証券取引所の定めに基づく独立役員

|                     |                              |                |           |
|---------------------|------------------------------|----------------|-----------|
| <b>候補者<br/>番号</b> 1 | なか ぎわ ゆう じ<br><b>中 澤 裕 二</b> | (1973年12月28日生) | <b>再任</b> |
|---------------------|------------------------------|----------------|-----------|

#### 略歴、地位及び担当並びに重要な兼職の状況

|          |                         |          |                       |
|----------|-------------------------|----------|-----------------------|
| 1995年 6月 | 当社入社                    | 2018年 9月 | 当社常務執行役員営業本部営業企画・管理部長 |
| 2000年 7月 | 当社NEW青葉台店店長             | 2020年 9月 | 当社社長執行役員              |
| 2010年 4月 | 当社マーケティング企画室マネージャー      | 2020年11月 | 当社代表取締役社長社長執行役員（現任）   |
| 2012年 2月 | 当社マーチャンダイジング部マネージャー     | 2020年11月 | 株式会社ビックカメラ取締役（現任）     |
| 2014年 9月 | 当社執行役員営業本部営業部営業企画管理支援室長 | 2021年 6月 | 株式会社とちぎテレビ社外取締役（現任）   |
| 2016年 9月 | 当社執行役員営業本部営業企画・管理部長     |          |                       |

所有する当社の株式数：17,300株

在任年数：4年（本株主総会最終時）

取締役会出席状況：18/18回

#### 取締役候補者とした理由

中澤裕二氏は長年にわたり、商品部門及び営業部門の責任者を務め、2020年11月以降、当社代表取締役社長として、強いリーダーシップをもって当社経営の指揮を執っております。当社の中で培った豊富な経験・実績・見識等を経営に活かすことを期待し、取締役候補者いたしました。

|                     |                              |                |           |
|---------------------|------------------------------|----------------|-----------|
| <b>候補者<br/>番号</b> 2 | あら かわ ただ し<br><b>荒 川 忠 士</b> | (1969年 8月 4日生) | <b>再任</b> |
|---------------------|------------------------------|----------------|-----------|

#### 略歴、地位及び担当並びに重要な兼職の状況

|          |                        |          |                            |
|----------|------------------------|----------|----------------------------|
| 1991年10月 | 当社入社                   | 2012年11月 | 当社執行役員経営企画本部長              |
| 2009年11月 | 当社情報システム本部長            | 2013年11月 | 当社取締役執行役員経営企画本部長           |
| 2011年10月 | 当社情報システム本部長兼経営企画室長     | 2018年 9月 | 当社取締役常務執行役員経営企画本部長         |
| 2012年 6月 | 当社執行役員経営企画室長兼情報システム本部長 | 2020年 9月 | 当社代表取締役専務専務執行役員経営企画本部長（現任） |

所有する当社の株式数：25,600株

在任年数：11年（本株主総会最終時）

取締役会出席状況：18/18回

#### 取締役候補者とした理由

荒川忠士氏は長年にわたり、システム部門及び経営管理、経営戦略策定の責任者を務め、2013年11月に当社取締役、2020年9月より当社代表取締役として会社経営に携わり、当社の中で培った豊富な経験・実績・見識を有しております。その見識等を経営に活かすことを期待し、取締役候補者いたしました。

|                            |                        |               |           |
|----------------------------|------------------------|---------------|-----------|
| <b>候補者<br/>番号</b> <b>3</b> | しとうりゅうじ<br><b>紫藤竜二</b> | (1976年9月17日生) | <b>再任</b> |
|----------------------------|------------------------|---------------|-----------|

**略歴、地位及び担当並びに重要な兼職の状況**

|          |                         |          |                                    |
|----------|-------------------------|----------|------------------------------------|
| 1995年4月  | 当社入社                    | 2013年9月  | 当社執行役員営業本部営業部ブロックマネージャー            |
| 2003年11月 | 当社NEW川越インター店<br>店長      | 2018年9月  | 当社執行役員総務人事本部長兼人事部長兼内部統制担当          |
| 2005年6月  | 当社NEW新座店店長              | 2018年11月 | 当社取締役執行役員総務人事本部長兼人事部長兼内部統制担当       |
| 2008年6月  | 当社NEW柏店店長               | 2020年9月  | 当社取締役常務執行役員総務人事本部長兼人事部長兼内部統制担当(現任) |
| 2011年10月 | 当社成城店店長                 |          |                                    |
| 2012年4月  | 当社営業本部営業部ブロッ<br>クマネージャー |          |                                    |

所有する当社の株式数：9,300株

在任年数：6年(本株主総会終結時)

取締役会出席状況：18/18回

**取締役候補者とした理由**

紫藤竜二氏は営業部門のブロックマネージャーを経て総務人事部門の責任者を歴任し、2018年11月より当社取締役として会社経営に携わり、当社の中で培った豊富な経験・実績・見識を有しております。その見識等を経営に活かすことを期待し、取締役候補者となりました。

|                            |                            |               |           |
|----------------------------|----------------------------|---------------|-----------|
| <b>候補者<br/>番号</b> <b>4</b> | くぼた かず ふみ<br><b>久保田 一史</b> | (1977年2月18日生) | <b>再任</b> |
|----------------------------|----------------------------|---------------|-----------|

**略歴、地位及び担当並びに重要な兼職の状況**

|          |                     |          |                            |
|----------|---------------------|----------|----------------------------|
| 1997年4月  | 当社入社                | 2017年9月  | 当社営業本部開発部長兼店舗リノベーション室長     |
| 2010年10月 | 当社NEW井草店店長          | 2018年9月  | 当社執行役員営業本部開発部長兼店舗リノベーション室長 |
| 2012年4月  | 当社NEW高井戸東店店長        | 2020年9月  | 当社執行役員営業本部長兼開発部長           |
| 2013年2月  | 当社営業本部営業部           |          |                            |
| 2015年9月  | 当社営業本部営業部新店準備<br>室長 | 2020年11月 | 当社取締役執行役員営業本部長兼開発部長(現任)    |
| 2016年5月  | 当社営業本部営業部開発室長       |          |                            |

所有する当社の株式数：11,900株

在任年数：4年(本株主総会終結時)

取締役会出席状況：18/18回

**取締役候補者とした理由**

久保田一史氏は開発部門及び営業部門の責任者を歴任し、2020年11月より当社取締役として会社経営に携わり、当社の中で培った豊富な経験・実績・見識を有しております。その見識等を経営に活かすことを期待し、取締役候補者となりました。

|           |   |         |        |          |                |    |
|-----------|---|---------|--------|----------|----------------|----|
| 候補者<br>番号 | 5 | あき<br>秋 | ほ<br>保 | とおる<br>徹 | (1974年12月11日生) | 再任 |
|-----------|---|---------|--------|----------|----------------|----|

### 略歴、地位及び担当並びに重要な兼職の状況

|          |                  |          |                               |
|----------|------------------|----------|-------------------------------|
| 1997年 3月 | 株式会社ビックカメラ入社     | 2019年 8月 | 同社取締役常務執行役員商品本部長兼EC本部長        |
| 2012年 9月 | 同社執行役員第二商品部長     | 2020年 9月 | 同社取締役専務執行役員事業推進部門管掌商品本部長      |
| 2013年10月 | 同社執行役員商品部長       | 2020年12月 | 同社取締役専務執行役員事業推進部門管掌マーケティング本部長 |
| 2015年10月 | 同社執行役員EC事業部長     | 2022年 9月 | 同社代表取締役社長社長執行役員(現任)           |
| 2017年 2月 | 同社常務執行役員EC事業本部長  | 2022年11月 | 当社取締役(現任)                     |
| 2018年11月 | 同社取締役常務執行役員EC本部長 |          |                               |

所有する当社の株式数：600株

在任年数：2年(本株主総会最終時)

取締役会出席状況：17/18回

### 取締役候補者とした理由

秋保徹氏は長年にわたり、当社の親会社である株式会社ビックカメラで商品仕入部門・EC部門の責任者を務め、2022年9月に同社代表取締役社長に就任するなど、同社の中で培った豊富な経験・実績・見識を有しております。その見識等を経営に活かすことを期待し、取締役候補者としていたしました。

- (注) 1. 秋保徹氏が代表取締役社長社長執行役員を務める株式会社ビックカメラは、当社の親会社であり、当社は同社との間で商品の発注業務の委託及び代金の支払業務の委託等の取引があるとともに、家電品等販売に関する事業において競業関係にありますが、同氏個人と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 秋保徹氏は、当社の親会社である株式会社ビックカメラの業務執行者であり、当該会社における地位及び担当は、「略歴、地位及び担当並びに重要な兼職の状況」欄に記載のとおりであります。
3. 上記以外の各取締役候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
4. 取締役(業務執行取締役等であるものを除く。)との責任限定契約について当社は、会社法第427条第1項及び定款第30条に基づき秋保徹氏との間で会社法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく賠償責任の限度額は法令が規定する最低責任限度額であります。また、同氏が再選されたときは、業務を執行しない取締役とする予定ですので、当社は同氏との間の上記責任限定契約を継続する予定であります。
5. 役員等賠償責任保険契約の内容の概要等  
当社は、保険会社との間で、当社の全ての取締役及び執行役員を被保険者とする、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、保険料は全額当社が負担しております。各候補者が取締役に選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。当該保険契約の内容の概要は、被保険者が、その職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を当該保険契約により保険会社が補償するものであり、1年毎に契約更新しており、次回更新時においても同内容での更新を予定しております。

#### 第4号議案 監査等委員である取締役1名選任の件

監査等委員である取締役高井章光氏は、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となりますので、監査等委員である取締役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案につきましては監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役の候補者は、次のとおりであります。

|            |              |          |
|------------|--------------|----------|
| たか い あき みつ |              |          |
| 高 井 章 光    | (1968年6月5日生) | 再任 社外 独立 |

#### 略歴、地位及び担当並びに重要な兼職の状況

|          |                                                                  |          |                               |
|----------|------------------------------------------------------------------|----------|-------------------------------|
| 1992年10月 | 司法試験合格                                                           | 2016年11月 | 日本商工会議所経済法規専門委員会委員（現任）        |
| 1995年4月  | 第二東京弁護士会弁護士登録<br>あさひ法律事務所（現あさひ<br>法律事務所、西村あさひ法律<br>事務所）アソシエート弁護士 | 2017年6月  | 株式会社NEW ART HOLDINGS社外監査役（現任） |
| 1999年6月  | 須藤・高井法律事務所開設<br>共同パートナー                                          | 2020年11月 | 当社社外取締役（監査等委員）<br>（現任）        |
| 2007年11月 | 第二東京弁護士会仲裁セン<br>ター仲裁人候補者（現任）                                     | 2021年2月  | 株式会社ノダ社外取締役（現<br>任）           |
| 2011年9月  | 文部科学省原子力損害賠償紛<br>争審査会特別委員（現任）                                    | 2021年12月 | 大和証券リビング投資法人監督<br>役員（現任）      |
| 2016年6月  | 高井総合法律事務所開設<br>代表パートナー（現任）                                       | 2022年4月  | 一橋大学大学院法学研究科特任<br>教授          |
| 2016年6月  | 株式会社テイクアンドギヴ・<br>ニーズ社外監査役（現任）                                    | 2024年4月  | 一橋大学大学院法学研究科客員<br>教授（現任）      |

所有する当社の株式数：1,300株

在任年数：4年（本株主総会終結時）

取締役会出席状況：18/18回

#### 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

高井章光氏は、長年にわたり弁護士として企業法務に深く関わるとともに、他の企業の社外取締役及び社外監査役を歴任しております。また、事業再生などの実務を通じて企業経営についての知見を有しております。その経験や知見を活かし、経営者や特定の利害関係者の利益に偏ることなく、当社が社会において果たす役割を公平に認識し、当社の監査体制強化に反映していただくことを期待し、監査等委員である社外取締役候補者といいたしました。同氏は過去に社外役員となること以外の方法で直接会社経営に関与したことはありませんが、上記の理由により、当社の監査等委員である社外取締役としての職務を適切に遂行できるものと判断しております。

- (注) 1. 高井章光氏と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 高井章光氏は社外取締役候補者であります。
3. 高井章光氏は、現在当社の監査等委員である社外取締役であります。同氏の監査等委員である社外取締役としての在任期間は本定時株主総会終結の時をもって4年となります。
4. 取締役(業務執行取締役等であるものを除く。)との責任限定契約について  
当社は、会社法第427条第1項及び定款第30条に基づき、高井章光氏との間で会社法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく賠償責任の限度額は法令が規定する最低責任限度額であります。また、同氏が再選されたときは、当社は同氏との間の上記責任限定契約を継続する予定であります。
5. 役員等賠償責任保険契約の内容の概要等  
当社は、保険会社との間で、当社の全ての取締役及び執行役員を被保険者とする、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、保険料は全額当社が負担しております。高井章光氏が取締役に選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。当該保険契約の内容の概要は、被保険者が、その職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を当該保険契約により保険会社が補償するものであり、1年毎に契約更新しており、次回更新時においても同内容での更新を予定しております。
6. 独立役員について  
当社は、高井章光氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ており、同氏が取締役に就任した場合には、引き続き同氏を独立役員とする予定であります。

(ご参考) 株主総会後の取締役のスキル・マトリックス

(注) 本招集ご通知記載の候補者を原案どおりにご選任いただいた場合の取締役のスキル・マトリックスは以下のとおりとなります。

<スキル・マトリックス>

|      |    |       |        |    | 1    | 2      | 3     | 4          | 5       | 6    | 7             | 8       | 9        | 10         |
|------|----|-------|--------|----|------|--------|-------|------------|---------|------|---------------|---------|----------|------------|
| 業務執行 | 独立 | 監査等委員 | 氏名     | 性別 | 企業経営 | 法務・リスク | 財務・会計 | 営業・マーケティング | 商品企画・開発 | 店舗開発 | 人事・労務・ダイバーシティ | IT・デジタル | サステナビリティ | 株主エンゲージメント |
| ●    | －  | －     | 中澤 裕二  | 男  | ●    |        |       | ●          | ●       | ●    |               | ●       | ●        | ●          |
| ●    | －  | －     | 荒川 忠士  | 男  | ●    |        | ●     |            |         |      |               | ●       | ●        | ●          |
| ●    | －  | －     | 紫藤 竜二  | 男  |      | ●      |       | ●          |         |      | ●             |         | ●        |            |
| ●    | －  | －     | 久保田 一史 | 男  |      |        |       | ●          | ●       | ●    |               |         | ●        |            |
| －    | －  | －     | 秋 保 徹  | 男  | ●    |        |       |            | ●       |      |               |         | ●        | ●          |
| －    | －  | ●     | 水沼 貞夫  | 男  |      | ●      | ●     |            |         |      | ●             |         | ●        |            |
| －    | ●  | ●     | 相澤 光江  | 女  |      | ●      |       |            |         |      |               |         | ●        | ●          |
| －    | ●  | ●     | 土 井 充  | 男  |      |        | ●     |            |         |      |               |         | ●        | ●          |
| －    | ●  | ●     | 高井 章光  | 男  |      | ●      |       |            |         |      |               |         | ●        | ●          |

## 第5号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

監査等委員である取締役が法令に定める員数を欠くことになる場合に備え、改めて、山宮慎一郎氏を、補欠の監査等委員である取締役として選任をお願いするものであります。

なお、本議案における選任の効力は、就任前に限り、監査等委員会の同意のうえ取締役会の決議によりその選任を取り消すことができるものとさせていただきます。

また、本議案につきましては監査等委員会の同意を得ております。

補欠の監査等委員である取締役の候補者は、次のとおりであります。

やま みや しん いち ろう  
山 宮 慎 一 郎

(1970年2月4日生)

社外 独立

### 略歴、地位及び担当並びに重要な兼職の状況

|          |                                                                     |          |                                              |
|----------|---------------------------------------------------------------------|----------|----------------------------------------------|
| 1992年10月 | 司法試験合格                                                              | 2013年12月 | ERIホールディングス株式会社<br>社外監査役                     |
| 1995年4月  | 東京弁護士会弁護士登録<br>新東京総合法律事務所入所                                         | 2015年4月  | TMI総合法律事務所パートナー<br>(現任)                      |
| 2006年1月  | 新東京法律事務所パートナー                                                       | 2015年6月  | 元気寿司株式会社社外監査役                                |
| 2006年6月  | 日本ERI株式会社社外監査役                                                      | 2015年8月  | ERIホールディングス株式会社<br>社外取締役(現任)                 |
| 2007年10月 | ビンガム・マカッチェン・ム<br>ラセ外国法事務所弁護士事務所<br>坂井・三村・相澤法律事務所<br>(外国法共同事業) パートナー | 2023年6月  | プルデンシャル・ホールディング<br>・オブ・ジャパン株式会社社<br>外監査役(現任) |

所有する当社の株式数：一株

### 補欠の社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

山宮慎一郎氏は、長年にわたり弁護士として企業法務や事業再生等に深く関わり、また、他の企業の社外取締役及び社外監査役を歴任しております。その経験や知見を活かし、業務執行の監督機能を強化することができることも幅広い視点からの提言が得られることを期待し、補欠の監査等委員である社外取締役候補者といたしました。なお、同氏は過去に社外役員となること以外の方法で直接会社経営に関与した経験はありませんが、上記の理由により、当社の監査等委員である社外取締役としての職務を適切に遂行できるものと判断しております。

- (注) 1. 山宮慎一郎氏と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 山宮慎一郎氏は、補欠の社外取締役候補者であります。
3. 取締役(業務執行取締役等であるものを除く。)との責任限定契約について  
山宮慎一郎氏が選任され、社外取締役に就任した場合には、当社は、会社法第427条第1項及び定款第30条に基づき、同氏との間で会社法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結する予定であります。なお、当該契約に基づく賠償責任の限度額は法令が規定する最低責任限度額であります。
4. 役員等賠償責任保険契約の内容の概要等  
当社は、保険会社との間で、当社の全ての取締役及び執行役員を被保険者とする、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、保険料は全額当社が負担しております。山宮慎一郎氏が選任され、社外取締役に就任した場合には、当該保険契約の被保険者となります。当該保険契約の内容の概要は、被保険者が、その職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を当該保険契約により保険会社が補償するものであり、1年毎に契約更新しており、次回更新時においても同内容での更新を予定しております。
5. 山宮慎一郎氏が監査等委員である社外取締役に就任した場合、当社は、同氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出る予定であります。

## 第6号議案 取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）に対する譲渡制限付株式の付与に関する報酬額等及び内容の決定の件

当社の取締役（監査等委員を除く。）の報酬額については、2015年11月25日開催の第53期定時株主総会において、年額400百万円以内（ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない。）とご承認いただいております。また、上記とは別枠で、2018年11月14日開催の第56期定時株主総会及び2021年11月18日開催の第59期定時株主総会において、取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）に対して、株式報酬型ストック・オプションに関する報酬限度額を年額80百万円以内、各事業年度に係る定時株主総会の日から1年以内に割り当てる新株予約権の数は800個を上限とご承認いただいておりますが、今般、当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除きます。以下「対象取締役」といいます。）に対し、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、対象取締役と株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、上記の報酬枠とは別枠にて、新たに譲渡制限付株式の付与のための報酬を支給することにつきご承認をお願いいたします。

なお、対象取締役となる、現在の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）は5名であり、第3号議案が承認可決されますと、5名となります。また、本制度の導入に伴い、第56期定時株主総会及び第59期定時株主総会でご承認をいただきました株式報酬型ストック・オプションに関する報酬制度を廃止し、今後取締役に対しストック・オプションとしての新株予約権の新たな発行は行わない予定です。

対象取締役に対して譲渡制限付株式の付与を行うにあたっては、まず、当社は対象取締役に対して、譲渡制限付株式の発行に関する取締役会決議日において当社の取締役の地位にあることを条件に、当社の取締役会決議に基づき金銭報酬債権を支給します。当該金銭債権の総額は、上記の目的を踏まえ相当と考えられる金額として、年額80百万円以内といたします。また、各対象取締役への具体的な支給時期及び配分は報酬委員会の諮問を経たうえで取締役会にて決定することといたします。

対象取締役は、当社の取締役会決議に基づき支給される金銭報酬債権の全部を現物出資財産として給付し、当社の普通株式について発行又は処分を受けるものとし、これにより発行又は処分をされる当社の普通株式の総数は年80,000株以内（ただし、本議案が承認可決された日以降の日を効力発生日とする当社の普通株式の株式分割（当社の普通株式の無償割当てを含みます。）又は株式併合が行われた場合、当該効力発生日以降、分割比率・併合比率等に応じて、当該総数を、必要に応じて合理的な範囲で調整します。）とします。

その1株当たりの払込金額は各取締役会決議の日の前営業日における東京証券取引所における当社の普通株式の終値（同日に取引が成立していない場合は、それに先立つ直近取引日の終値）とします。また、これによる当社の普通株式の発行又は処分にあたっては、当社と対象取締役との間で、大要以下の内容を含む譲渡制限付株式割当契約（以下「本割当契約」といいます。）を締結することを条件とします（本割当契約により割当てを受けた当社の普通株式を、以下「本株式」といいます。）。

なお、本議案における報酬額の上限、発行又は処分される当社の普通株式の総数その他の本議案に基づく対象取締役への譲渡制限付株式の付与の条件は、上記の目的、当社の業況、当社の取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定に関する方針その他諸般の事情を考慮して決定されており、相当であると考えております。また、本議案の内容につきましては、監査等委員会の同意を得ております。

#### （1）譲渡制限期間

対象取締役は、本株式の払込期日（以下「本払込期日」といいます。）から当社の取締役会が予め定める地位を退任又は退職した時点までの間（以下「本譲渡制限期間」といいます。）、本株式について、譲渡、担保権の設定その他の処分をすることができない。ただし、当該退任又は退職した時点が本払込期日の属する事業年度経過後3か月を経過した日よりも前の時点である場合には、譲渡制限期間の終期について合理的な範囲で調整することができる。

#### （2）譲渡制限の解除条件

対象取締役が当社の取締役会が予め定める期間（以下「役務提供期間」といいます。）中、継続して、当社の役職員の地位のうち当社の取締役会が予め定める地位にあったことを条件として、本株式の全部について、本譲渡制限期間の満了をもって譲渡制限を解除する。

#### （3）無償取得事由

- ①対象取締役が死亡、任期満了又は定年その他正当な理由によらず、当社の取締役会が予め定める地位から退任又は退職することが確定した場合、当社は本株式の全部を無償で取得する。
- ②その他の無償取得事由は、当社の取締役会決議に基づき、本割当契約に定めるところによる。

(4) 死亡、中途退任における取扱い

上記(2)の定めにかかわらず、対象取締役が役務提供期間の途中で死亡、その他正当な理由により、当社の取締役会が予め定める地位から退任又は退職した場合には、役務提供期間における在任期間を踏まえて合理的に定める数の本株式について、当該退任又は退職した時点をもって譲渡制限を解除する。また、当社は、上記に規定する場合、譲渡制限が解除された直後の時点において、譲渡制限が解除されていない本株式を当然に無償で取得する。

(5) 組織再編等における取扱い

上記(1)(2)の定めにかかわらず、当社は、本譲渡制限期間中に、当社が消滅会社となる合併契約、当社が完全子会社となる株式交換契約又は株式移転計画その他の組織再編等に関する事項が当社の株主総会(ただし、当該組織再編等に関して当社の株主総会による承認を要しない場合においては、当社の取締役会)で承認された場合には、取締役会の決議により、譲渡制限期間の開始から当該承認の日までの期間を踏まえて合理的に定める数の本株式について、組織再編等の効力発生日に先立ち、譲渡制限を解除する。また、当社は、上記に規定する場合、譲渡制限が解除された直後の時点において、譲渡制限が解除されていない本株式を当然に無償で取得する。

(6) 公開買付け等における取扱い

当社の普通株式に対し、金融商品取引法第27条の2以下に規定される公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)が開始された場合であって、対象取締役から当社に対して本公開買付けに応募するために本譲渡制限を解除するよう書面により申し出があった場合には、当社は合理的に定める数の本株式について譲渡制限を解除する。また、当社は、上記に規定する場合、譲渡制限が解除された直後の時点において、譲渡制限が解除されていない本株式を当然に無償で取得する。

(7) その他の事項

本割当契約に関するその他の事項は、当社の取締役会において定めるものとする。

以上

# 事業報告

(2023年9月1日から  
2024年8月31日まで)

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当事業年度におけるわが国経済は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復しております。企業収益は、総じてみれば改善し、雇用情勢は改善の動きがみられ、個人消費は一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられます。

当家電小売業界における売上は、パソコン、ゲーム等が低調に推移いたしましたが、スマートフォン、理美容等が好調、調理家電等が堅調であったため、総じて堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社は、「家電を通じて 笑顔あふれる 明るく暖かい 暮らしをつくる くらし応援企業であること」のパーパスのもと、「お客様の暮らしを『より快適に』『より便利に』『より楽しく』します。くらし応援コジマ」をビジョンに掲げ、「生産性の向上」及び「持続的な成長」の2大戦略を推進するとともに、短期的な視点での「収益性」、中期的な視点での「成長性」、超長期的な視点での「社会性」の3つの観点に基づいて事業に取り組み、企業価値の向上に努めております。

「収益性」としましては、店舗における販売員の「接客力・専門性の強化」に取り組み、今期新たに開設した「上板橋研修センター」において、基礎的な商品知識から実際の接客までを一貫して学ぶことができる研修プログラムを導入し、販売員一人ひとりの接客レベル向上に努めております。さらには、販売員向けにエアコン設置工事研修を実施し、エアコン販売の知識向上を図ることで、より省エネ性能に優れた高付加価値商品をご提案できるよう育成に努めております。あわせて、接客対応の時間をより長く確保するため、電子棚札の導入店舗を拡大し「業務効率の改善」にも努めております。商品の機能説明だけでなく、お客様の生活シーンに寄り添った付加価値の高い商品をご提案できる接客を強化することで、他社との差別化を図り、収益の増加と生産性の向上に努めております。また、「集客力の強化」に取り組み、お客様から大変ご好評をいただいているミニ四駆大会や、地域の企業・自治体と連携したイベントを積極的に開催するなど、ご来店のお客様に楽しんでいただける機会の創出に取り組んでおります。

「成長性」としましては、「EC事業」において、自社サイトである「コジマネット」の機能強化を図り、商品紹介コンテンツのリッチ化や「コジマ×ビックカメラカード」で無金利分割60回までのお支払方法を導入いたしました。また、2024年7月より、株式会社ベネフィット・ワンが提供する福利厚生サービスと連携し、「コジマネット」への送客を図るなど、収益の向上に取り組んでおります。「住設事業」においては、引き続き、住設部門の売場を充実させた店舗リニューアルを進めることで、スマートハウスのご提案を強化し、太陽光発電や蓄電池等の再生可能エネルギー関連商品の拡販に努めております。加えて、外壁屋根の塗装や修繕リフォームの認知度向上にも取り組み、売上の拡大を図っております。

「社会性」としましては、当社は、企業活動を通じて社会課題を解決し、企業価値を高め成長することを目的とした「サステナビリティ経営」を推進しております。「環境に配慮した取り組み」としまして、GHG（温室効果ガス）排出量の削減へ向け、コーポレートPPA方式による店舗屋上・屋根等への太陽光発電設備の導入を引き続き進めており、現時点で10店舗への設置を完了しております。また、ご来店いただくお客様の利便性向上を図るとともに電気自動車（EV）の普及促進に貢献するため、EV用充電設備を20店舗の駐車場に計38台設置し、さらには、当社のサービスである「くらし応援便」の車両として、EVを11店舗に導入し順次拡大を進めております。その他、発泡スチロールの減容機を導入し、発泡スチロールごみをリサイクル可能な資源に変えることにより、資源循環に貢献しております。「人的資本経営の取り組み」としましては、当社の将来にわたる成長に最も大切な「従業員」のため、「従業員エンゲージメント」の向上に努め、活躍できる人財の育成や健康経営の推進等に取り組んでおります。人財の育成につきましては、従業員のスキル向上と継続的な成長をサポートするため、各種研修の実施やeラーニングを活用した学習機会の充実、資格取得の支援等に取り組んでおります。また、「タレントマネジメントシステム」の活用を拡大し、従業員一人ひとりの適性や経験に基づいた人財配置やスムーズなキャリア形成を進めております。ダイバーシティの推進につきましては、多様な人財がそれぞれの能力や個性を発揮し、いきいきと働き続けることができる職場環境の整備を進め、女性従業員のキャリアアップや男性従業員の育児休業取得支援、シニア人財の活躍支援等を推進しております。2024年8月には、従業員の仕事と不妊治療の両立支援への取り組みが評価され、厚生労働大臣より「プラチナくるみんプラス」の認定を取得しました。健康経営の推進につきましては、「ウェルネス推進室」のもと、従業員の健康を増進するために「ウォーキングイベント」を開催するなど、従業員が主

体的に心身の健康づくりに取り組める環境を提供しております。2024年3月には、当社の健康経営に関する取り組みが評価され、「健康経営優良法人2024 (大規模法人部門)」認定企業の上位 500 法人に与えられる「ホワイト500」の認定を取得しております。

また、ステークホルダーの皆様当社への理解をより深めていただくため、「統合報告書2023」の発行や、コーポレートサイトの「企業IR情報・サステナビリティページ」(<https://www.kojima.net/corporation/>)のリニューアルも実施しております。

店舗展開におきましては、2023年11月23日に「コジマ×ビックカメラ 新さっぽろデュオ店」(北海道札幌市)をはじめ2店舗を開店した一方、2024年6月30日に「コジマ×ビックカメラ ファボーレ富山店」(富山県富山市)をはじめ4店舗を閉店したことから、2024年8月末現在の店舗数は139店舗となりました。

なお、7月10日には、インバウンド需要をターゲットにしたポップアップストア「コジマ×ビックカメラ 沖縄アウトレットあしびな一店」(沖縄県豊見城市)を期間限定で開店しております。

当事業年度の上半期(9月～2月)におきましては、巣ごもり需要等の反動減影響により、テレビやパソコンなどが低調に推移したことに加えて、EC事業を中心に利益重視の体制強化を実施してきた影響によって、売上高が減少しましたが、売上総利益率は大幅に改善いたしました。その結果、営業利益及び経常利益は、前年同期をわずかに下回る水準で着地いたしました。下半期(3月～8月)におきましては、携帯電話やエアコンの好調、テレビの需要回復に伴い、売上高は増収に転じました。さらにEC事業の収益改善に加えて、店舗における高付加価値商品の販売強化により、売上総利益率は、引き続き前年同期に対して大幅に改善いたしました。また、販売費及び一般管理費につきましては、将来の成長に向けた積極的な人的資本投資やシステム投資等の費用が増加した一方で、デジタル広告・スマートフォンアプリの活用による広告宣伝費の削減や、節電対策による水道光熱費の削減など、経費コントロールに継続して取り組んできたことから、各段階利益は増益となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は 2,698億68百万円(前年同期比 0.7%増)、営業利益は 63億59百万円(前年同期比 32.0%増)、経常利益は 66億27百万円(前年同期比 28.8%増)、税引前当期純利益は 54億25百万円(前年同期比 10.8%増)、当期純利益は 40億1百万円(前年同期比 39.5%増)と、増収増益となりました。

## 品目別売上高、同構成比

| 品目別      | 売上高<br>(百万円) | 構成比<br>(%) | 前年同期比<br>増減率(%) |
|----------|--------------|------------|-----------------|
| 音響映像商品   | 40,122       | 14.9       | △1.7            |
| 家庭電化商品   | 120,005      | 44.5       | △1.2            |
| 情報通信機器商品 | 76,196       | 28.2       | 2.1             |
| その他の商品   | 32,098       | 11.9       | 8.8             |
| 物品販売事業   | 268,423      | 99.5       | 0.8             |
| その他の事業   | 1,445        | 0.5        | △4.4            |
| 合計       | 269,868      | 100.0      | 0.7             |

### (2) 設備投資及び資金調達の状況

当事業年度に実施いたしました設備投資の総額は14億8百万円で、主に、新規出店や店舗改装にかかる投資であります。

これらの設備投資につきましては、自己資金及び銀行借入によりまかないました。

### (3) 財産及び損益の状況

| 区 分            | 第 59 期   | 第 60 期   | 第 61 期   | 第 62 期<br>(当期) |
|----------------|----------|----------|----------|----------------|
|                | 2021年8月期 | 2022年8月期 | 2023年8月期 | 2024年8月期       |
| 売 上 高(百万円)     | 297,535  | 279,374  | 267,893  | 269,868        |
| 経 常 利 益(百万円)   | 9,244    | 8,525    | 5,146    | 6,627          |
| 当 期 純 利 益(百万円) | 6,302    | 5,761    | 2,869    | 4,001          |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 81円40銭   | 74円71銭   | 37円17銭   | 51円87銭         |
| 総 資 産(百万円)     | 112,525  | 117,154  | 109,244  | 114,660        |
| 純 資 産(百万円)     | 58,993   | 61,941   | 63,799   | 66,479         |
| 1株当たり純資産額 (円)  | 764円30銭  | 801円81銭  | 824円57銭  | 861円86銭        |

(注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数により算出しております。

2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第60期の期首から適用しており、第60期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

### (4) 重要な親会社の状況

#### ① 親会社との関係

当社の親会社は株式会社ビックカメラ(以下「親会社」という。)で同社は当社の普通株式39,000千株を保有し、その議決権比率は50.67%であります。

## ② 親会社との間の取引に関する事項

### イ. 当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項

当社は親会社との間で「商品の発注及び代金の支払業務の委託」等の取引を実施しておりますが、当該取引をするに当たっては、少数株主の保護のため、当該取引の必要性及び取引条件が第三者との通常の取引と著しく相違しないこと等に留意し、合理的な判断に基づき、公正かつ適正に決定しております。

### ロ. 当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由

当社は、親会社からの独立性確保の観点も踏まえ、独立社外取締役からも当社経営に対する適切な意見を得ながら、取締役会において多面的な議論を経たうえで、当該取引の実施の可否を決定しております。

事業運営に関しては、取締役会を中心とした当社独自の意思決定に基づき業務執行をしており、上場企業としてのお互いの立場を尊重しつつ経営の独立性を確保しながら、適切に経営及び事業活動を行っております。

### ハ. 取締役会の判断が社外取締役の意見と異なる場合の当該意見

該当事項はありません。

## ③ 親会社との重要な財務及び事業方針等に関する契約等

当社は親会社との間で資本業務提携契約を締結し、商品仕入面での連携、物流・システム面での連携、店舗開発、店舗運営ノウハウ及び店舗マネジメント並びに販売促進の連携、什器・間接資材の共同購入、人材交流の多方面にわたり両社で共同して提携を推進することにより、収益性の改善及び競争力の強化に努めております。

当社の取締役会の諮問機関として、独立諮問委員会を設置しております。独立諮問委員会は独立社外取締役で構成されており、親会社または親会社グループ所属企業と当社少数株主との利益が相反する重要な取引・行為について、当該取引等を開始する前に審議・検討しております。独立諮問委員会が審議した内容を取締役会に対して答申しております。

また、当社と親会社の間で利益相反の恐れがある取引及び重要な契約等を締結する際、当社役員である中澤裕二氏及び秋保徹氏は親会社の役職員を兼務しているため、本件意思決定の決議に参加しないこととして、利益相反を回避しております。

## (5) 対処すべき課題

当社は、「家電を通じて 笑顔あふれる 明るく暖かいみらいをつくる 暮らし応援企業であること」のパーパスのもと、「お客様の暮らしを『より快適に』『より便利に』『より楽しく』します。暮らし応援コジマ」をビジョンに掲げ、地域の皆様からもっとも身近で愛され、必要とされるコジマを目指してまいります。

引き続き、経営戦略として掲げている「生産性向上戦略」及び「成長戦略」を更に推進し、各重点施策に取り組んでまいります。「生産性向上戦略」におきましては、「営業利益の向上」、「人的資本経営の推進」及び「事業継続基盤の確立」に取り組み、「成長戦略」におきましては、「自社ブランド強化による店舗における家電販売力の向上」及び「成長事業の強化」に取り組んでまいります。

家電市場におきましては、今後も厳しい競争環境が続くと想定されることから、他社との差別化を図るべく、「コジマ」の店舗ブランド力強化に努め、家電販売力の向上に取り組んでまいります。販売員の接客品質の底上げを図り、成約率を高めるため、研修センターの拡大による教育機会の充実や資格取得支援等を推進し、より一層販売員の育成に努めてまいります。店舗業務の効率化や新たな人事評価制度の導入等を実施することで、接客に注力できる環境を整え、人時生産性の向上にも取り組んでまいります。また、社長がCWO（最高健康責任者）として、健康に関する課題の改善を目指す健康経営の推進や、活躍できる人財の育成等に取り組んでまいります。「従業員」一人ひとりがいきいきと働ける職場環境を整え、エンゲージメントの向上を目指してまいります。さらに、2025年には創業70周年を迎えることから、記念セール等の各種販促施策を展開し、収益向上に努めてまいります。

成長事業の収益拡大に注力し、EC事業においては、継続して自社サイトのコンテンツリッチ化や利便性向上を実施することに加えて、ECプラットフォームを活用した新たな分野のサービスの導入等を実施することで、収益向上に取り組んでまいります。法人事業においては、法人WEB受注の活用による効率的な営業を推進するとともに、法人事業所と店舗法人のエリア再構築による収益改善を図ってまいります。住設事業においては、再生可能エネルギーやリフォーム事業の専任者増員や人財育成による売上拡大、「暮らし応援便」と連携したお客様宅への訪問営業強化による収益拡大を図ってまいります。

加えて、当社の継続的な成長や持続可能な社会の実現を目指すべく、サステナビリティ経営を推進してまいります。環境への配慮や人的資本、ガバナンスを意識した対応等を重視しながら企業活動に取り組むとともに、ESG情報の開示を充実させ、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(6) 主要な事業内容 (2024年8月31日現在)

当社は、家電品販売業として、音響映像商品、家庭電化商品、情報通信機器商品、その他の商品の販売を行っている他、不動産賃貸業等を展開しております。

(7) 使用人の状況 (2024年8月31日現在)

| 使用人数            | 前事業年度末比増減  | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|-----------------|------------|-------|--------|
| 2,898名 (2,000名) | 8名減 (55名減) | 41.0歳 | 16.6年  |

- (注) 1. 使用人数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であります。
2. 使用人数は嘱託社員77名を含んでおります。ただし、平均年齢及び平均勤続年数は嘱託社員を含んでおりません。
3. ( )は臨時雇用者数（アルバイト、派遣社員を含む。）であり、年間の平均人員（1日1人8時間換算）を外数で記載しております。

(8) 主要な借入先及び借入額 (2024年8月31日現在)

| 借入先        | 借入額（百万円） |
|------------|----------|
| 株式会社足利銀行   | 4,650    |
| 株式会社みずほ銀行  | 900      |
| 株式会社りそな銀行  | 800      |
| 株式会社七十七銀行  | 400      |
| 株式会社三井住友銀行 | 150      |

(9) その他会社の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 株式に関する事項 (2024年8月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 97,200,000株
- (2) 発行済株式の総数 77,912,716株 (自己株式917,123株を含む。)
- (3) 株主数 94,833名
- (4) 大株主 (上位10名)

| 株主名                                                                                                   | 持株数<br>(千株) | 持株比率<br>(%) |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|
| 株式会社 ビックカメラ                                                                                           | 39,000      | 50.65       |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社<br>(信託口)                                                                           | 3,558       | 4.62        |
| 小島 章 利                                                                                                | 2,339       | 3.03        |
| 寺崎 佳 子                                                                                                | 2,331       | 3.02        |
| 有限会社 ケーケーワイ                                                                                           | 1,540       | 2.00        |
| 佐藤 由 姫 子                                                                                              | 1,180       | 1.53        |
| 小島 將 人                                                                                                | 957         | 1.24        |
| 小島 久 幸                                                                                                | 863         | 1.12        |
| J. P. MORGAN SECURITIES PLC FOR AND<br>ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMSP RE<br>CLIENT ASSETS - SETT ACCT | 696         | 0.90        |
| 小島 宏 美                                                                                                | 625         | 0.81        |

- (注) 1. 当社は、自己株式を917,123株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
3. 持株比率は、自己株式917,123株を控除して計算しております。  
4. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

### (5) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

### 3. 会社役員に関する事項

#### (1) 取締役に関する事項（2024年8月31日現在）

| 地 位              | 氏 名   | 担当及び重要な兼職の状況                |
|------------------|-------|-----------------------------|
| 代表取締役社長          | 中澤裕二  | 社長執行役員、株式会社ビックカメラ取締役        |
| 代表取締役専務          | 荒川忠士  | 専務執行役員経営企画本部長               |
| 取締役              | 紫藤竜二  | 常務執行役員総務人事本部長兼人事部長兼内部統制担当   |
| 取締役              | 久保田一史 | 執行役員営業本部長兼開発部長              |
| 取締役              | 秋保徹   | 株式会社ビックカメラ代表取締役社長<br>社長執行役員 |
| 取締役<br>(常勤監査等委員) | 水沼貞夫  |                             |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 相澤光江  | 弁護士                         |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 土井充   | 公認会計士・税理士                   |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 高井章光  | 弁護士                         |

- (注) 1. 取締役(監査等委員)の相澤光江氏、土井充氏及び高井章光氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 当社は、取締役(監査等委員)の相澤光江氏、土井充氏及び高井章光氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
3. 当事業年度中の取締役の異動はありません。
4. 代表取締役社長中澤裕二氏は、株式会社とちぎテレビの社外取締役を兼務しております。
5. 取締役(監査等委員)相澤光江氏は、TMI総合法律事務所のパートナー、オカモト株式会社の社外取締役を兼務しております。なお、ELCジャパン株式会社の社外監査役を兼務していましたが2023年9月に退任しております。
6. 取締役(監査等委員)土井充氏は、国際興業ホールディングス株式会社の社外監査役、中和有限責任監査法人の代表社員を兼務しております。
7. 取締役(監査等委員)高井章光氏は、高井総合法律事務所の代表パートナー、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ及び株式会社NEW ART HOLDINGSの社外監査役、株式会社ノダの社外取締役、大和証券リビング投資法人の監督役員を兼務しております。
8. 取締役(監査等委員)相澤光江氏、土井充氏及び高井章光氏は、以下のとおり、法律又は財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
- ・相澤光江氏は、弁護士の資格を有しております。
  - ・土井充氏は、公認会計士及び税理士の資格を有しております。
  - ・高井章光氏は、弁護士の資格を有しております。
9. 情報収集その他監査の実効性を高め、監査・監督機能を強化するため、常勤の監査等委員を置いております。

10. 当社は執行役員制度を導入しております。2024年8月31日現在における執行役員（執行役員を兼務している取締役は除く。）は次の10名であります。

| 役 職 名                                        | 氏 名       |
|----------------------------------------------|-----------|
| 執行役員 営業本部 営業部長                               | 岩 田 友 和   |
| 執行役員 総務人事本部 総務部長                             | 成 田 博 芳   |
| 執行役員 経営企画本部 経営企画部長                           | 宮 坂 貞 広   |
| 執行役員 営業本部 営業企画・管理部長                          | 染 野 幹 也   |
| 執行役員 営業本部 E C事業部長<br>兼 経営企画本部 経営企画部 新規事業開発室長 | 浅 野 信 行   |
| 執行役員 営業本部 法人事業部長                             | 山 口 雅 士   |
| 執行役員 内部監査部長                                  | 高 橋 有 美 子 |
| 執行役員 営業本部 営業部ブロックマネージャー                      | 上 西 伸 一   |
| 執行役員 営業本部 営業部ブロックマネージャー                      | 西 村 禎 彦   |
| 執行役員 総務人事本部 人事部 ウェルネス推進室長                    | 大 野 幸 恵   |

### (2) 取締役（業務執行取締役等であるものを除く。）との責任限定契約について

当社は、会社法第427条第1項及び当社定款に基づき、取締役秋保徹氏、取締役水沼貞夫氏、取締役相澤光江氏、取締役土井充氏及び取締役高井章光氏と会社法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく賠償責任の限度額はいずれも法令が規定する最低責任限度額であります。

### (3) 役員等賠償責任保険契約の内容の概要等

当社は、保険会社との間で、当社の全ての取締役及び執行役員を被保険者とする、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、保険料は全額当社が負担しております。

当該保険契約の内容の概要は、被保険者が、その職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を当該保険契約により保険会社が補償するものであり、1年毎に契約更新しております。

#### (4) 当事業年度に係る取締役の報酬等

##### ①役員報酬等の決定に関する方針等

当社は、2021年2月24日開催の取締役会において、取締役（監査等委員である取締役を除く。以下、「取締役」という。）の個人別の報酬にかかる基本方針を決議しております。当該取締役会の決議に際しては、あらかじめ決議する内容について報酬委員会へ諮問し、答申を受けております。

また、取締役会は、当事業年度にかかる取締役の個人別の報酬等について、報酬等の決定方法及び決定された報酬等の内容が当該決定方針と整合していることや、報酬委員会からの答申が尊重されていることを確認しており、当該決定方針に沿うものであると判断しております。

当社の取締役の報酬体系は、各取締役に対して企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的とし、個々の取締役の報酬の決定に際しては、役職や職責を踏まえた適正な水準とすることを基本方針といたします。具体的には、取締役の報酬は、①各取締役の役割に応じた金銭による「基本報酬」、②短期インセンティブとしての会社業績と個人のミッション達成状況からなる金銭による「業績連動報酬等」、③中長期インセンティブとしての「株式報酬型ストック・オプション」から構成いたします。

なお、監査等委員である取締役の報酬等の額は、常勤と非常勤の別、社内取締役と社外取締役の別、業務の分担等を勘案し、監査等委員である取締役の協議により決定し、監査等委員である取締役の報酬は、客観的立場から取締役の職務の執行を監査する役割を担うことから基本報酬のみを支給することといたします。

また、中長期の業績にコミットする観点から、各取締役（監査等委員である取締役を含む。）は、月額報酬額の一定額を当社役員持株会に拠出することにより、当社株式を取得し、取得した株式の保有を在任任期中、継続する制度を設けております。

取締役の個人別の報酬等にかかる決定方針の内容は、次のとおりです。

##### イ. 基本報酬（金銭報酬）の個人別の報酬等の額の決定に関する方針（報酬等を与える時期又は条件の決定に関する方針を含む。）

取締役の基本報酬は、各取締役の役職や職責、当社の業績、市場水準等を考慮しながら、あらかじめ定められた基準額の範囲内で決定された額を月次の報酬として支給する。

監査等委員である取締役の基本報酬は、職責に相応しいものとし、各々の果たす役割や専門知識・経験等を考慮して監査等委員である取締役の協議により、個別に決定し、月次の報酬として支給する。

##### ロ. 業績連動報酬等にかかる業績指標の内容の決定に関する方針

取締役に対する業績連動報酬等にかかる業績指標は、企業価値の持続的な向上を図るためには収益力の向上が重要であるため、業績連動報酬については売上高、営業利益とし、株式報酬型ストック・オプションにかかる業績指

標は営業利益等とする。業績指標については、環境の変化に応じて報酬委員会の答申を踏まえ見直しを行うものとする。

- ハ、業績連動報酬等の額の決定に関する方針（報酬等を与える時期又は条件の決定に関する指針を含む。）

取締役に対する金銭による業績連動報酬等は、業績指標の年度ごとの達成状況を考慮し、各事業年度終了後に会社及び個人の業績評価に応じて個人別の額を算定するものとし、在任期間中、月次の報酬として支給する。

- 二、株式報酬型ストック・オプションの内容及びその数の決定に関する方針（報酬等を与える時期又は条件の決定に関する指針を含む。）

取締役に対する株式報酬型ストック・オプションは、持続的な企業価値の増大を目的とした株式報酬制度であり、その割当て数は取締役会の決議をもって決定する。

各事業年度における営業利益等を参考に業績目標を定め、業績目標を達成した場合に支払うものとする。その支払時期は、対象期間の末日の属する月とする。また、退任時に限り権利行使を認めるものとする。

なお、新株予約権者の行為が、法令又は当社の社内規程等に違反したと取締役会が判断したとき、ストック・オプションに係る新株予約権割当契約書に定める事項に違反したとき、会社の名誉を毀損し、あるいは会社に著しい損害を与えたと取締役会が判断したとき、当社の事前の書面による承諾なく競業会社の役員又は顧問等に就任したときは、累積した新株予約権を放棄するものとする。

- ホ、取締役の個人別の報酬等の内容についての決定方法に関する事項

取締役の個人別の報酬等については取締役会の決議に基づき代表取締役社長にその具体的な決定を一任する。

代表取締役社長に一任する権限の内容は、株主総会決議により定められた上限額等の範囲内における取締役の個人別の基本報酬の額、業績連動報酬等の額、及び株式報酬型ストック・オプションの割当数の決定とする。

また、取締役会は、当該権限が代表取締役社長によって適切に行使されるよう、取締役会の諮問機関として報酬委員会を設置し、代表取締役社長が上記委任に基づき取締役の個人別の報酬等の内容を決定するに際して、予め、報酬委員会の答申を得た上で、当該答申の内容を最大限尊重することを上記委任の条件とする。

監査等委員である取締役の基本報酬については、株主総会決議により定められた上限額の範囲内で、監査等委員である取締役の協議により個人別の報酬額を決定する。

- ヘ、基本報酬、業績連動報酬等、及び株式報酬型ストック・オプションの額の割合の決定に関する方針

取締役の報酬水準、並びに基本報酬、業績連動報酬等、及び株式報酬型ストック・オプションの額の相互の割合は、当社と同程度の事業規模や関連する業種・業態に属する企業を参照して決定する。具体的には、現金報酬は基本報酬50%、業績連動報酬等50%とし、株式報酬型ストック・オプション

は前記二. のとおり、業績目標を達成した場合に付与するものとする。

取締役会の一任を受けた代表取締役は、報酬委員会の答申内容を尊重し、当該答申で示された報酬割合の範囲内で各取締役の報酬等の内容を決定する。

## ②取締役の報酬等の総額

| 区 分                      | 報酬等の総額<br>(百万円) | 報酬等の種類別の総額 (百万円) |             |            | 対象となる<br>役員の数<br>(名) |
|--------------------------|-----------------|------------------|-------------|------------|----------------------|
|                          |                 | 基本報酬             | 業績連動<br>報酬等 | 非金銭<br>報酬等 |                      |
| 取 締 役<br>(監査等委員を除く。)     | 140             | 70               | 70          | －          | 4                    |
| 取締役 (監査等委員)<br>(うち社外取締役) | 33<br>(17)      | 33<br>(17)       | －           | －          | 4<br>(3)             |
| 合 計<br>(うち社外役員)          | 174<br>(17)     | 103<br>(17)      | 70          | －          | 8<br>(3)             |

- (注) 1. 支給員数には、報酬を受け取っていない取締役 (監査等委員を除く。) 1名は含まれておりません。
2. 取締役 (監査等委員を除く。) の報酬限度額は、2015年11月25日開催の第53期定時株主総会において年額400百万円以内 (ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与とは含まない。) と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役 (監査等委員を除く。) は6名です。また、2021年11月18日開催の第59期定時株主総会において、上記の報酬等の額とは別枠で、取締役 (監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。) に対する株式報酬型ストック・オプションに関する報酬限度額を年額80百万円以内、各事業年度に係る定時株主総会の日から1年以内に割り当てる新株予約権の数は800個を上限とする決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役 (監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。) は5名です。
3. 取締役 (監査等委員) の報酬限度額は、2015年11月25日開催の第53期定時株主総会において年額50百万円以内と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役 (監査等委員) は3名です。
4. 業績連動報酬等の額又は数の算定の基礎として選定した業績指標の内容及びその選定の理由、業績連動報酬等の額又は数の算定の方法については、「(4) 当事業年度に係る取締役の報酬等 ①役員報酬等の決定に関する方針等 ロ. ハ. 及びニ. 」に記載しております。なお、業績目標に対し、2023年8月期の実績は、売上高は267,893百万円 (目標比△17,306百万円で未達成)、営業利益は4,819百万円 (目標比△3,580百万円で未達成) となりました。
5. 非金銭報酬等は、当社の中長期にわたる中期経営目標の達成と持続的な企業価値の増大を目的とした株式報酬型ストック・オプション制度であります。当該株式報酬型ストック・オプション制度は、非金銭報酬等による業績連動報酬等ですが、上記表においては「非金銭報酬等」に記載しております。なお、非金銭報酬等の内容は「(4) 当事業年度に係る取締役の報酬等 ①役員報酬等の決定に関する方針等 二. 」に記載しております。
6. 取締役の個人別の報酬等の内容については、代表取締役社長中澤裕二氏が社業全般を統括していることから、取締役会決議に基づきその具体的な決定を同氏に一任しており、一任する権限の内容は、株主総会決議により定められた上限額等の範囲内における取締役の個人別の基本報酬の額、業績連動報酬等の額、及び株式報酬型ストック・オプションの割当数の決定としております。また、取締役会は、当該権限が代表取締役社長によって適切に行使されるよう、取締役会の諮問機関として報酬委員会を設置し、代表取締役社長社長執行役員が上記委任に基づき取締役の個人別の報酬等の内容を決定するに際して、予め、報酬委員会の答申を得た上で、当該答申の内容を最大限尊重することを上記委任の条件としております。

(5) 社外役員に関する事項

①重要な兼職先と当社との関係

社外取締役（監査等委員）相澤光江氏は、TMI総合法律事務所のパートナー及びオカモト株式会社の社外取締役を兼務しております。当社は、TMI総合法律事務所との間で法律業務に関し委任契約を締結しております。

なお、ELCジャパン株式会社の社外監査役を兼務しておりましたが2023年9月に退任しております。また、各兼職先と当社との間に人的関係、資本的関係又は取引関係その他利害関係はありません。

社外取締役（監査等委員）土井充氏は、国際興業ホールディングス株式会社の社外監査役、中和有限責任監査法人の代表社員を兼務しております。また、各兼職先と当社との間に人的関係、資本的関係又は取引関係その他利害関係はありません。

社外取締役（監査等委員）高井章光氏は、高井総合法律事務所の代表パートナー、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ及び株式会社NEW ART HOLDINGSの社外監査役、株式会社ノダの社外取締役、大和証券リビング投資法人の監督役員を兼務しております。また、各兼職先と当社との間に人的関係、資本的関係又は取引関係その他利害関係はありません。

②当事業年度における主な活動状況

|                          | 出席状況、発言状況及び<br>社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社外取締役<br>(監査等委員)<br>相澤光江 | 当事業年度に開催された取締役会18回の全てに、また、監査等委員会16回の全てに出席いたしました。弁護士としての専門的見地から、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。さらに、監査等委員会において、適宜、必要な発言を行っております。あわせて、ガバナンス委員会、指名委員会、報酬委員会及び独立諮問委員会の議長として、各委員会に出席し、適宜、必要な発言を行っております。上記の活動により、経営者や特定の利害関係者の利益に偏ることなく、当社が社会において果たす役割を公平に認識し、当社の監査体制強化に反映することで、社外取締役として期待される役割を適切に行っています。 |

|                          | 出席状況、発言状況及び<br>社外取締役にて期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社外取締役<br>(監査等委員)<br>土井 充 | 当事業年度に開催された取締役会18回の全てに、また、監査等委員会16回の全てに出席いたしました。公認会計士・税理士としての専門的見地から、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。さらに、監査等委員会、ガバナンス委員会、指名委員会、報酬委員会及び独立諮問委員会において、適宜、必要な発言を行っております。上記の活動により、当社経営に対する的確な助言、独立した立場からの監督機能の発揮等により、当社の監査体制強化に反映することで、社外取締役として期待される役割を適切に行っています。                            |
| 社外取締役<br>(監査等委員)<br>高井章光 | 当事業年度に開催された取締役会18回の全てに、また、監査等委員会16回の全てに出席いたしました。事業再生等の実務を通じて経営に関与した経験や、弁護士としての専門的見地から、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。さらに、監査等委員会、ガバナンス委員会、指名委員会、報酬委員会及び独立諮問委員会において、適宜、必要な発言を行っております。上記の活動により、経営者や特定の利害関係者の利益に偏ることなく、当社が社会において果たす役割を公平に認識し、当社の監査体制強化に反映することで、社外取締役として期待される役割を適切に行っています。 |

#### 4. 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主の皆様に対する収益性、会社の今後の収益予想、企業基盤の強化等を十分考慮し、業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針としております。

当事業年度の配当金につきましては、上記の方針に基づき1株当たり16円の期末配当とさせていただきます。予定であります。

当社は定款に取締役会決議による剰余金の配当等を可能とする規定を設けておりますが、当事業年度の期末配当は株主の皆様のご意見を直接伺う機会を確保するため株主総会の決議事項としております。

# 貸借対照表

(2024年8月31日現在)

(単位：百万円)

| 科 目                    | 金 額            | 科 目                    | 金 額            |
|------------------------|----------------|------------------------|----------------|
| <b>(資 産 の 部)</b>       |                | <b>(負 債 の 部)</b>       |                |
| <b>流 動 資 産</b>         | <b>77,679</b>  | <b>流 動 負 債</b>         | <b>36,450</b>  |
| 現金及び預金                 | 24,458         | 買掛金                    | 13,128         |
| 売掛金                    | 10,886         | 1年内返済予定の長期借入金          | 3,396          |
| 商成品                    | 35,459         | 1年内償還予定の社債             | 200            |
| 貯蔵品                    | 163            | リース債務                  | 88             |
| 前渡金                    | 520            | 未払金                    | 6,190          |
| 前払費用                   | 2,010          | 未払法人税等                 | 902            |
| 未収入金                   | 2,328          | 契約負債                   | 6,403          |
| 預け金                    | 315            | 預り金                    | 369            |
| その他の                   | 1,667          | 賞与引当金                  | 1,582          |
| 貸倒引当金                  | △129           | 店舗閉鎖損失引当金              | 73             |
| <b>固 定 資 産</b>         | <b>36,981</b>  | 資産除去債務                 | 94             |
| <b>有 形 固 定 資 産</b>     | <b>16,296</b>  | その他の                   | 4,021          |
| 建物                     | 6,328          | <b>固 定 負 債</b>         | <b>11,730</b>  |
| 構築物                    | 115            | 長期借入金                  | 3,633          |
| 機械及び装置                 | 44             | リース債務                  | 85             |
| 工具、器具及び備品              | 988            | 商品保証引当金                | 30             |
| 土地                     | 8,420          | 店舗閉鎖損失引当金              | 95             |
| リース資産                  | 387            | 資産除去債務                 | 3,795          |
| その他の                   | 11             | 契約負債                   | 3,169          |
| <b>無 形 固 定 資 産</b>     | <b>833</b>     | その他の                   | 920            |
| 借地権                    | 480            | <b>負 債 合 計</b>         | <b>48,181</b>  |
| 電話加入権                  | 149            | <b>(純 資 産 の 部)</b>     |                |
| ソフトウェア                 | 203            | <b>株 主 資 本</b>         | <b>66,359</b>  |
| <b>投 資 そ の 他 の 資 産</b> | <b>19,851</b>  | <b>資 本 金</b>           | <b>25,975</b>  |
| 前払年金費用                 | 2,986          | <b>資 本 剰 余 金</b>       | <b>15,880</b>  |
| 長期前払費用                 | 1,768          | 資本準備金                  | 6,493          |
| 繰延税金資産                 | 5,308          | その他資本剰余金               | 9,386          |
| 長期差入保証金                | 9,703          | <b>利 益 剰 余 金</b>       | <b>25,226</b>  |
| その他の                   | 109            | その他利益剰余金               | 25,226         |
| 貸倒引当金                  | △24            | 繰越利益剰余金                | 25,226         |
| <b>資 産 合 計</b>         | <b>114,660</b> | <b>自 己 株 式</b>         | <b>△722</b>    |
|                        |                | 新株予約権                  | 119            |
|                        |                | <b>純 資 産 合 計</b>       | <b>66,479</b>  |
|                        |                | <b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b> | <b>114,660</b> |

# 損 益 計 算 書

(2023年9月1日から  
2024年8月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目                     | 金 額     |
|-------------------------|---------|
| 売 上 高                   | 269,868 |
| 売 上 原 価                 | 195,669 |
| 売 上 総 利 益               | 74,198  |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費     | 67,838  |
| 営 業 利 益                 | 6,359   |
| 営 業 外 収 益               |         |
| 受 取 利 息                 | 21      |
| 受 取 配 当 金               | 0       |
| 受 取 手 数 料               | 65      |
| 受 取 保 険 金               | 213     |
| 店 舗 閉 鎖 損 失 引 当 金 戻 入 額 | 11      |
| 助 成 金 収 入               | 3       |
| そ の 他                   | 74      |
|                         | 390     |
| 営 業 外 費 用               |         |
| 支 払 利 息                 | 42      |
| 社 債 利 息                 | 0       |
| 支 払 手 数 料               | 47      |
| 賃 貸 収 入 原 価             | 14      |
| 契 約 違 約 金               | 5       |
| そ の 他                   | 13      |
|                         | 122     |
| 経 常 利 益                 | 6,627   |
| 特 別 利 益                 |         |
| 固 定 資 産 売 却 益           | 3       |
| 収 入 用 補 償 金             | 9       |
|                         | 12      |
| 特 別 損 失                 |         |
| 固 定 資 産 売 却 損           | 2       |
| 固 定 資 産 除 却 損           | 32      |
| 減 損                     | 1,178   |
| リ ー ス 解 約 損             | 1       |
|                         | 1,214   |
| 税 引 前 当 期 純 利 益         | 5,425   |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 | 846     |
| 法 人 税 等 調 整 額           | 577     |
| 当 期 純 利 益               | 4,001   |

# 計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2024年10月15日

株式会社 コジマ  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員  
指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 山野辺 純一  
公認会計士 関 信治

### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社コジマの2023年9月1日から2024年8月31日までの第62期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査等委員会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 計算書類等に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査等委員会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査等委員会は、2023年9月1日から2024年8月31日までの第62期事業年度における取締役の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施しました。

- ① 監査等委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、オンライン形式での情報交換等も活用しながら、会社の内部監査部門と連携の上、重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な店舗において業務及び財産の状況を調査しました。
- ② 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第5号イの留意した事項及び同号ロの判断及びその理由については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。
- ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2023年8月17日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項はありません。
- ④ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項はありません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2024年10月15日

株式会社 コジマ 監査等委員会

常勤監査等委員 水 沼 貞 夫 ㊟

監査等委員 相 澤 光 江 ㊟

監査等委員 土 井 充 ㊟

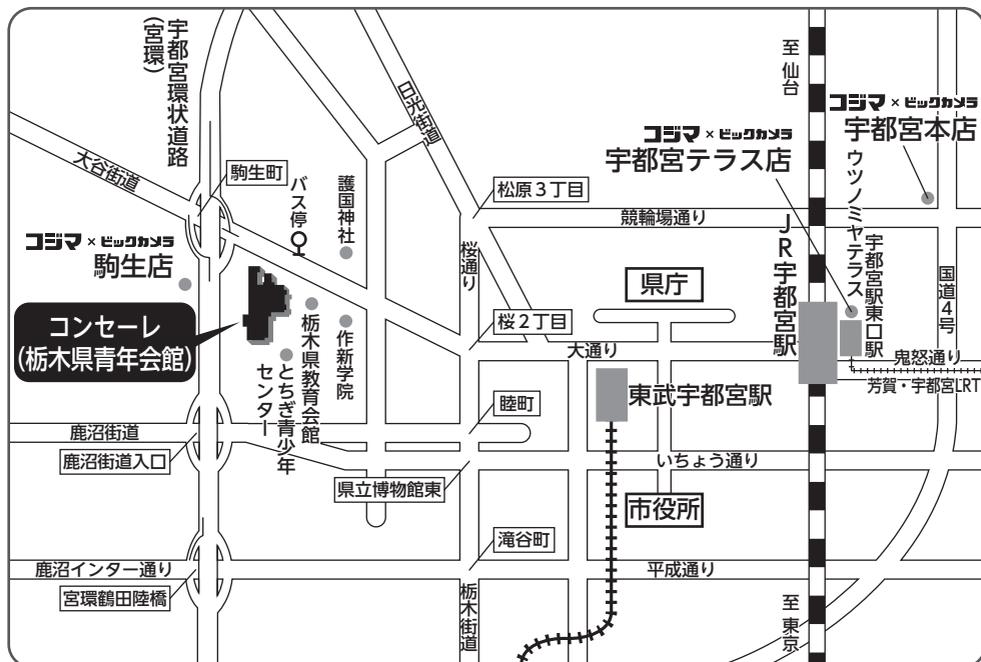
監査等委員 高 井 章 光 ㊟

(注) 監査等委員相澤光江、土井充及び高井章光は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

以 上

## 株主総会会場ご案内図

会 場：コンセーレ(栃木県青年会館) 1階 「大ホール」  
 栃木県宇都宮市駒生一丁目1番6号  
 電話 028 (624) 1417



交通アクセス J Rの場合：J R宇都宮駅から約4km 約16分  
 宇都宮駅(西口) 下車  
 ▶ バスターミナル⑥番⑦番  
 ▶ 関東バス「作新学院・駒生」行き ▶ 東中丸バス停 (会館前) 下車

東武線の場合：東武宇都宮駅から約3km 約15分  
 東武宇都宮駅 下車  
 ▶ 東武駅前バス停  
 ▶ 関東バス「作新学院・駒生」行き ▶ 東中丸バス停 (会館前) 下車

※駐車スペースもございますので、お車でもご来場いただけます。  
 ※大谷街道4車線化に伴い、「会館北出入口」は左折のみ入庫可能です。  
 ※右折車両は、会館東交差点から出入りをお願いいたします。

第62期定時株主総会におきましては、おみやげ(クーポン券等を含む)の配布は予定していません。何卒ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

環境に優しい植物性大豆油インキを使用しております。

